

はじめに

本調査は、当金庫のお取引先のご協力により昭和50年7月から実施しているものです。四半期ごとに調査を行い、D.I.を中心として分析を行っています。

なお、当金庫では6種類の一般業種のほか、地域金融機関として地場産業に重点を置いた調査を行い、次の8業種を選定しております。

- ① 縫製業
- ② 電子部品・半導体製造業
- ③ 漆器業
- ④ 木材業
- ⑤ 建具業
- ⑥ 織布業
- ⑦ 繊維・雑品業
- ⑧ 観光業

今回の調査は、令和4年4月～6月期の業況実績と、令和4年7月～9月期の見通しについて、管内519先の事業所を対象に実施いたしました。

些かなりとも経営のお役に立てていただければ幸いです。

※D.I. (Diffusion Index) 拡張指数

不変部分を除いて増加（上昇）したとする企業と、減少（下降）したとする企業の全体に占める構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトルの傾向を見る方法です。

**** 目次 ****

1. 概況	1
2. 地区内の業況D.I.推移	2
3. 一般業種の業況	
(1) 製造業	3
(2) 卸売業	4
(3) 小売業	5
(4) サービス業	6
(5) 建設業	7
(6) 不動産業	8
4. 地場産業の業況	
(1) 能登地区の縫製業	9
(2) 能登地区の電子部品 ・半導体製造業	10
(3) 能登地区の漆器業	11
(4) 能登地区の木材業	12
(5) 能登地区の建具業	13
(6) 能登地区の織布業	14
(7) 能登地区の繊維・雑品業	15
(8) 能登地区の観光業	16
5. 経済指標	17～18
6. 特別調査	
混迷する経済社会情勢と中小企業経営 —コロナ、原材料価格高騰、 海外情勢の緊迫化を受けて—	19

(注) 令和4年4月～6月を今期、令和4年1月～3月を前期、令和4年7月～9月を来期という、以下同じ。

調査対象企業の業種別先数および有効回答数

	依頼先	有効回答数	回答率 (%)	構成比 (%)
製造業	150	139	92.6	28.9
卸売業	24	19	79.2	4.0
小売業	149	137	92.0	28.5
サービス業	89	85	95.5	17.7
建設業	85	80	94.1	16.7
不動産業	22	20	90.9	4.2
合計	519	480	92.5	100.0

◇◆◇ 概 況 ◇◆◇

《 2022 年 4 月～6 月》

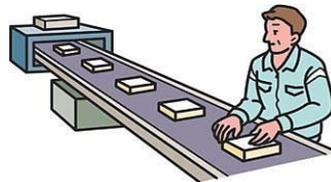
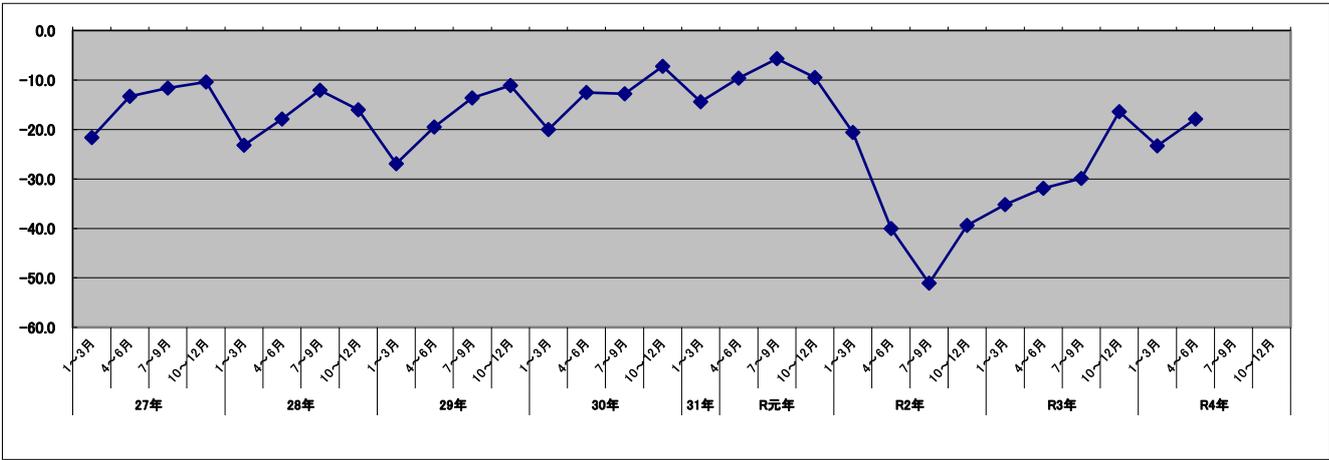
令和 4 年 3 月 21 日に全ての都道府県でまん延防止等重点措置の解除が実施された。石川県でも 6 月に入り、毎日発表される新型コロナウイルス感染者数は一日に多くて 200 人前後、少ないときは 50 人前後とコロナウイルスの第六波が落ち着いてきている。外出自粛要請から開放されたことで人出が増加し、大型連休も多くの観光客が県内外から訪れ、県の諸観光地は活況を呈した。夏に向けたイベントにおいても 3 年ぶりに祭りや花火大会が続々開催予定となり、活気付いた雰囲気を感じられ、気持ちとしても上向きになる話題が多く聞こえてくるようになった。

こうした中で、当金庫営業地区の今期（令和 4 年 4 月～6 月）業況 D. I. は△17.9（前期△23.3）と 5.4 ポイント改善した。地区内全般では不動産業を除いた全業種において改善を示した。地場産業では縫製業、繊維雑品業が引き続き回復基調を維持し、人流が戻ったことにより観光業も大きく改善した。漆器業、織物業はやや改善し、木材業、建築業は大きく改善した。半導体の供給不足が続く電子部品・半導体製造業のみが横這いの結果となった。自動車製造関連は上海のロックダウンの影響が出てきており、予断を許さない状況が続いている。

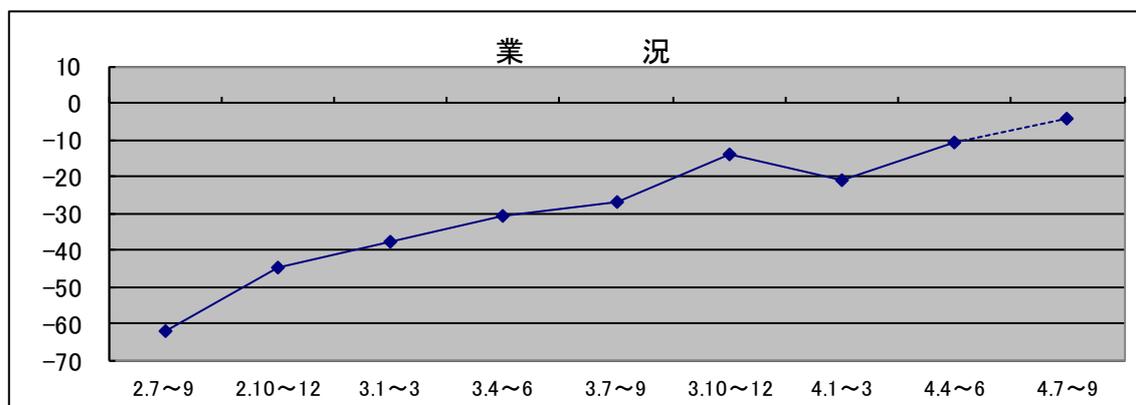
県は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者に対し令和 3 年 4 月より取扱いしている『新型コロナウイルス感染症経営改善支援特別融資』に加え、令和 4 年 7 月から『新型コロナウイルス感染症借換融資』の取扱いを新たに開始する。また、コロナウイルスの影響で外出控えにより客足が遠のいた飲食店に活気を取り戻そうと、石川県民飲食店応援食事券について 25 万冊の追加販売を 5 月下旬に決め、食事券の利用期限を 9 月末までに延長した。感染対策と経済活動の両立を図っていかなければならない難しい状況の中、現状を打破していくための施策を打ち出している。しかし、円安やロシアのウクライナ侵攻による原油・原材料価格の高止まりなどの外部環境の動向による影響が全業種において今後出てくると考えられ、輸入物価の上昇が企業の収益力や個人消費の落ち込みに繋がるなど、連鎖的な影響が懸念される。経営上の問題点として全業種では半数、地場産業では 3 分の 1 以上が『同業者間の競争の激化』を挙げている中、原材料価格が上昇し価格転嫁困難な状況から、今後の収益減少が懸念される。各事業者が新型コロナウイルス感染症に対応しようと懸命に努力を続けている中、今後の景気先行き不透明感は強く、事業者にとって非常に難しい舵取りを迫られる状況が続く。

地区内の業況D. I. 推移

年	期間	業況D. I.	年	期間	業況D. I.
H27年	1~3月	△ 21.6	H31年	1~3月	△ 14.4
	4~6月	△ 13.3	R元年	4~6月	△ 9.6
	7~9月	△ 11.6		7~9月	△ 5.7
	10~12月	△ 10.4		10~12月	△ 9.5
H28年	1~3月	△ 23.2	R2年	1~3月	△ 20.6
	4~6月	△ 17.9		4~6月	△ 40.0
	7~9月	△ 12.1		7~9月	△ 51.1
	10~12月	△ 16.0		10~12月	△ 39.4
H29年	1~3月	△ 26.9	R3年	1~3月	△ 35.2
	4~6月	△ 19.5		4~6月	△ 31.9
	7~9月	△ 13.6		7~9月	△ 29.9
	10~12月	△ 11.1		10~12月	△ 16.4
H30年	1~3月	△ 20.0	R4年	1~3月	△ 23.3
	4~6月	△ 12.5		4~6月	△ 17.9
	7~9月	△ 12.8		7~9月	
	10~12月	△ 7.2		10~12月	



製造業



【概 況】

今期（R 4.4月～6月）の業況D.I.は前期より持ち直し、△10.8（前期△20.9）となった。売上・収益について改善したとの回答が増えた。業況が悪化したと回答した業種は全体的に減少し、徐々に改善してきている。しかし未だ景気が好転する時期分ならず、先行き不透明との見方をしている。

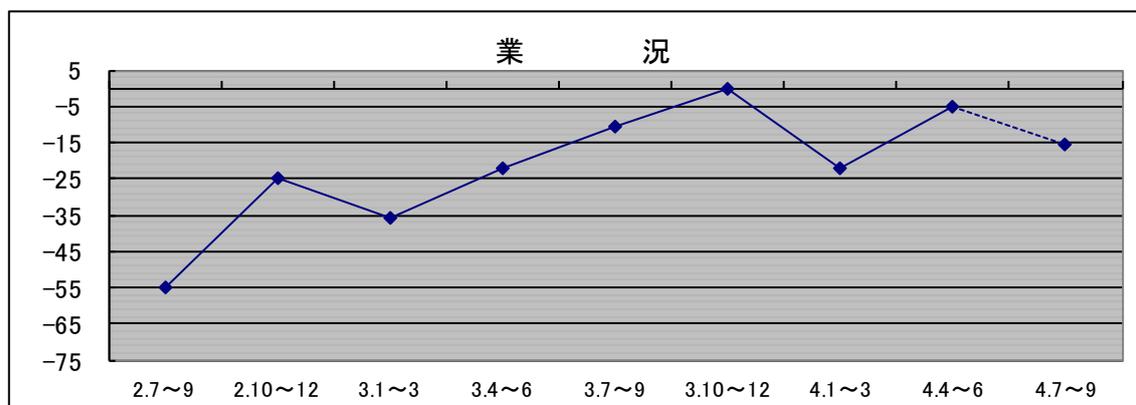
来期（R 4.7月～9月）の業況D.I.は△4.3と引き続き改善の見通し。

《業績判断D.I.の推移》

	令和2年		令和3年				令和4年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業 況	△62.1	△44.8	△37.7	△31.0	△26.8	△13.9	△20.9	△10.8	△4.3
売 上	△40.5	△18.8	△38.2	△29.4	△19.5	△3.1	△15.0	△2.2	1.4
収 益	△38.9	△20.8	△38.7	△28.9	△13.7	△10.8	△17.6	△10.8	△4.3
資金繰り	△19.5	△14.6	△13.6	△15.5	△7.9	△10.3	△8.0	△7.2	△6.5
人 手	1.6	△2.6	△3.7	△3.2	△3.2	△2.6	△3.2	△3.6	△5.8
設 備	△4.7	△2.1	△2.6	1.1	△2.6	△3.1	△2.1	△2.2	△2.2

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
原材料高	17.8%	提携先を見つける	34.7%
売上の停滞・減少	17.1%	販路を広げる	20.5%
人件費の増加	11.7%	経費を節減する	18.5%

卸売業



【概 況】

今期（R 4.4月～6月）業況D.I.は△5.3（前期△22.2）と改善した。概ね卸売業内は落ち着いた状態であり、卸売業のほとんどは横這いとの回答であった。

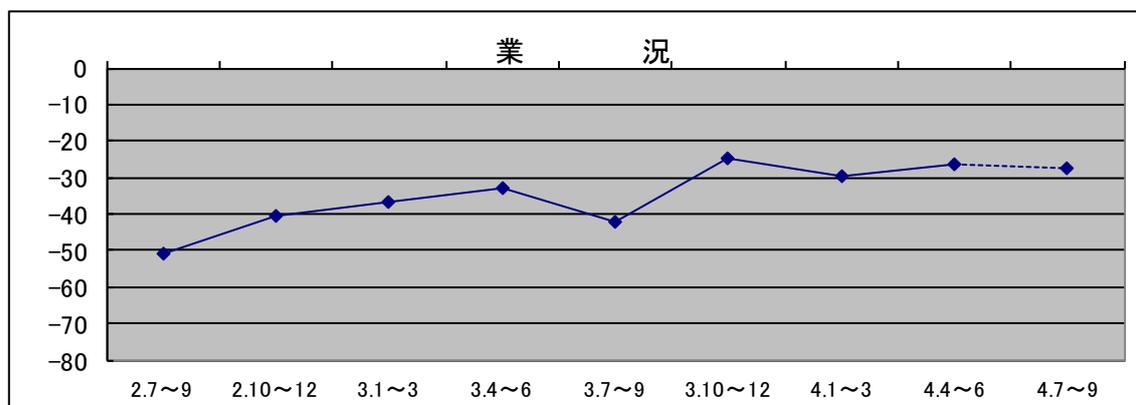
来期（R 4.7月～9月）の卸売業全体の見通しは△15.8と悪化を予想、売上・収益・仕入価格・在庫も悪化を予想している。個人消費は昨年より現在まで緩やかな改善傾向にあるが、円安やロシアのウクライナ侵攻による物価高の影響が懸念されることから来期は悪化の予想に転じたと思われる。

《業績判断D.I.の推移》

	令和2年		令和3年				令和4年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業況	△55.2	△25.0	△35.7	△22.2	△10.7	0.0	△22.2	△5.3	△15.8
売上	△51.7	△17.9	△53.6	△25.9	△21.4	△3.6	△14.8	15.8	△10.5
収益	△48.3	△14.3	△50.0	△18.5	△25.0	△7.1	△18.5	5.3	△26.3
仕入価格	△3.4	0.0	△14.3	11.1	21.4	25.0	51.9	47.4	31.6
在庫	△6.9	△10.7	△3.6	△3.7	△14.3	△7.1	△3.7	0.0	△15.8
資金繰り	△24.1	△21.4	△21.4	△22.2	△14.3	△3.6	3.7	△26.3	△26.3

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
合理化の不足	24.2%	提携先を見つける	33.3%
売上の停滞・減少	22.2%	販路を広げる	21.7%
同業者間の競争の激化	17.8%	経費を節減する	20.0%

小売業



【概況】

今期（R 4.4月～6月）の業況D.I.は△26.3（前期△29.4）と改善を示した。業界内で悪化したとの回答が多く見られたのは石油・ガソリン、電化製品、食料品、衣料品販売などで、原油価格高騰の影響が少しずつ出始めている。

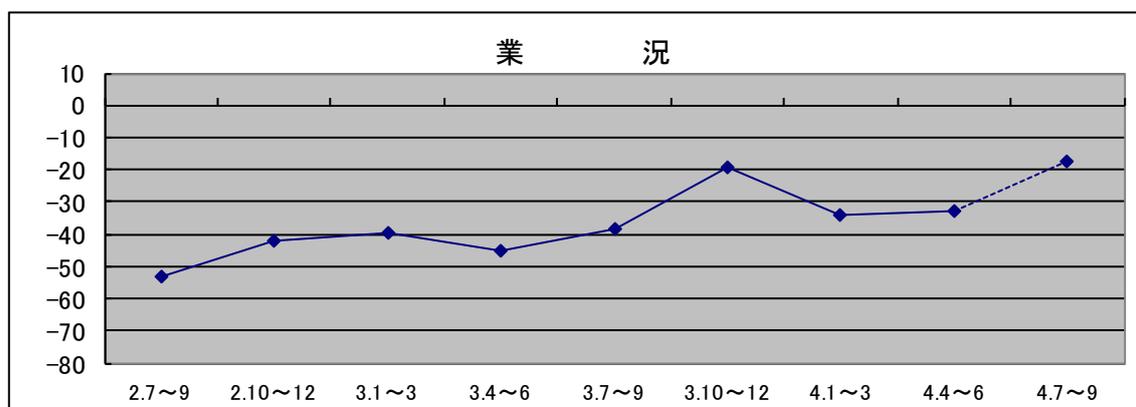
来期（R 4.7月～9月）業況D.I.については△27.7とほぼ横這いを予想。売上・収益については改善、他項目は横這いを予想。しかし原油価格の高騰や、円安及び物価高の影響が考えられることから楽観視はできない。

《業績判断D.I.の推移》

	令和2年		令和3年				令和4年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業況	△51.1	△40.8	△36.7	△33.1	△42.2	△24.5	△29.4	△26.3	△27.7
売上	△25.5	△30.4	△36.2	△30.9	△34.4	△14.7	△22.6	△19.7	△6.6
収益	△23.4	△29.9	△34.0	△29.8	△34.4	△14.7	△26.0	△27.0	△10.2
販売価格	△0.5	△7.6	△2.1	△2.2	△2.8	7.6	11.9	17.5	16.1
在庫	1.6	△4.3	0.5	0.0	△0.6	1.6	1.1	△7.3	△7.3
資金繰り	△12.0	△8.7	△11.2	△12.9	△12.8	△13.0	△11.9	△12.4	△13.1

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
地価の高騰	17.6%	仕入先を開拓・選別する	27.2%
売上の停滞・減少	17.0%	経費を節減する	20.2%
商圏人口の減少	11.9%	宣伝・広告を強化する	11.3%

サービス業



【概 況】

今期（R 4.4～6月）業況D.I.は△32.9（前期△33.9）とほぼ横這いを示した。

まん延防止等重点措置が解除されたことにより、イベントの開催数も増え、県内外から観光客も徐々に増えて来ている。しかしながら数値的には改善は反映されておらず、来期以降に改善が見られると思われる。3年振りに祭りや花火大会の開催が予定されるなど、サービス業にとっての朗報がある一方、行動制限がない中で、今後コロナが再び感染拡大すると人出が激減する可能性も否定できず、先行きは不透明である。

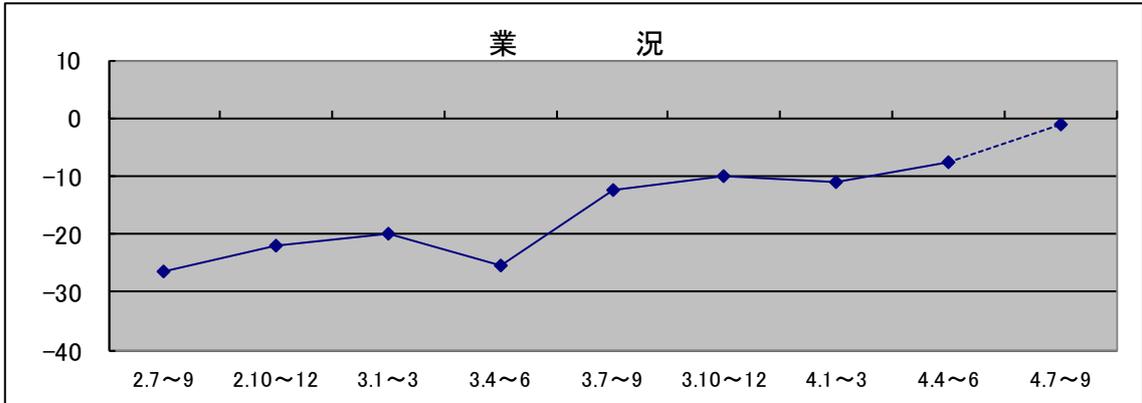
来期（R 4.7月～9月）業況D.I.は△17.6と改善を予想、他の項目についても設備以外は改善するとの見通しをしている。

《業績判断D.I.の推移》

	令和2年		令和3年				令和4年		見通し
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
業 況	△53.4	△42.1	△39.8	△45.1	△38.1	△19.1	△33.9	△32.9	△17.6
売 上	△35.3	△32.5	△31.9	△46.0	△32.7	△1.7	△26.8	△25.9	3.5
収 益	△34.5	△31.6	△31.0	△41.6	△31.0	△2.6	△26.8	△25.9	△1.2
料金価格	△1.7	△7.9	△3.5	△3.5	△8.8	0.9	10.7	△4.7	4.7
資金繰り	△20.7	△17.5	△17.7	△14.2	△21.2	△10.4	△16.1	△21.2	△14.1
設 備	△1.7	△1.8	△5.3	△1.8	△3.5	△5.2	△8.9	△5.9	△7.1

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
利幅の縮小	19.0%	提携先を見つける	29.3%
売上の停滞・減少	16.9%	経費を節減する	22.1%
代金回収の悪化	12.7%	宣伝・広告を強化する	12.2%

建設業



【概況】

今期（R 4.4月～6月）の業況D.I.は△7.5（前期△11.2）と若干の改善を示した。収益は悪化したが、それ以外の項目は改善した。ウッドショックによる木材価格の高騰の影響が続いていることや、民間工事や一般住宅の建設は低調が続いているなど、状況は好転していない。加えて今後ロシアへの経済制裁として、天井の下地材に使われるロシア産製材の輸入が止まれば更なる悪影響が考えられる。経営上の問題点は「同業者間の競争の激化」と「人手不足」が二位、三位に入り、一位は「人件費以外の経費の増加」で変わらず。

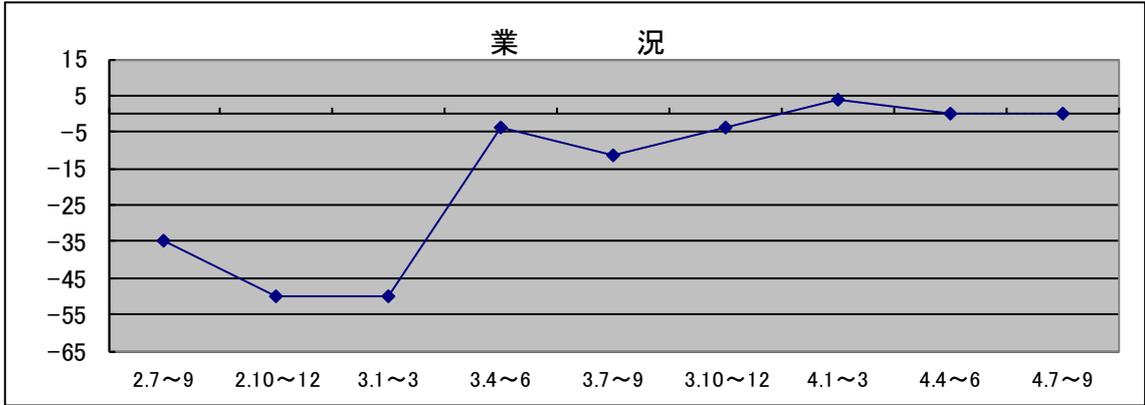
来期（R 4.7月～9月）の業況D.I.は△1.2と改善を予想、人手以外の項目についても改善すると見込んでいる。

《業績判断D.I.の推移》

	令和2年		令和3年				令和4年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業況	△26.5	△22.1	△19.8	△25.3	△12.5	△10.2	△11.2	△7.5	△1.2
売上	△15.7	△16.3	△22.1	△19.5	△6.8	△12.5	△9.0	△1.2	6.2
収益	△10.8	△10.5	△12.8	△13.8	△6.8	△12.5	△11.2	△16.2	1.2
請負価格	△3.6	△9.3	△7.0	△12.6	△5.7	△2.3	△5.6	11.2	13.8
資金繰り	△6.0	△10.5	△15.1	△10.3	△9.1	△8.0	△7.9	△6.2	△3.8
人手	△7.2	△12.8	△14.0	△6.9	△8.0	△8.0	△12.4	△7.5	△8.8

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
人件費以外の経費の増加	22.3%	技術力を高める	26.4%
同業者間の競争の激化	11.2%	経費を節減する	21.6%
人手不足	7.3%	情報力を強化する	9.6%

不動産業



【概況】

今期（R 4.4月～6月）の業況D.I.は0.0（前期3.7）とやや悪化を示した。収益・販売価格は改善したが、他の項目は悪化した。価格高騰の中で売れ行きは依然不調である。賃貸物件に関しては空き物件はあるが家賃が下がらず、価格が下がるのを待っている状態であるとみられ、ネット網の普及の影響か、店舗・事務所自体の数は減少傾向にある。

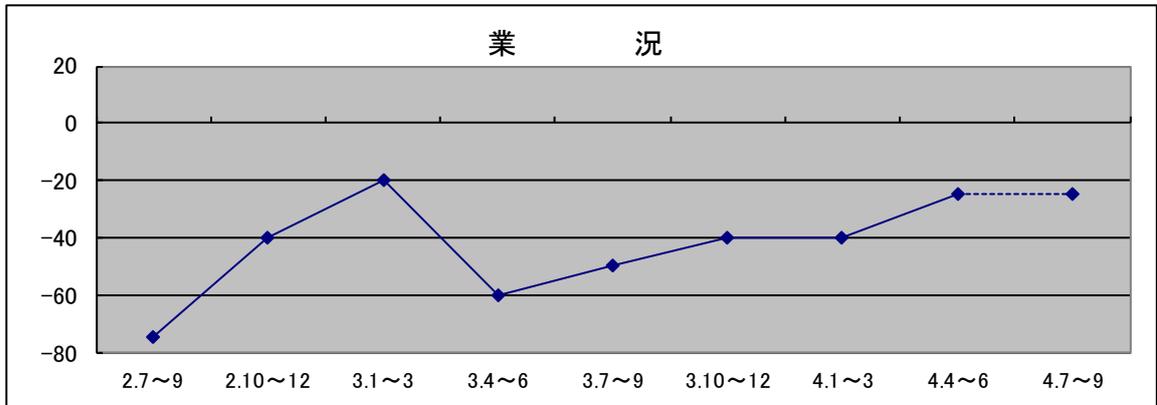
来期（R 4.7月～9月）は先行きが見通せないためか、業況D.I.は0.0で横這い、売上は改善であるが、在庫は横這い、収益・販売価格・資金繰りは悪化の予想となっている。

《業績判断D.I.の推移》

	令和2年		令和3年				令和4年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業況	△34.6	△50.0	△36.0	△4.0	△11.5	△3.8	3.7	0.0	0.0
売上	△34.6	△34.6	△36.0	△4.0	△19.2	△11.5	△7.4	△10.0	0.0
収益	△34.6	△34.6	△36.0	△8.0	△7.7	△7.7	0.0	10.0	0.0
販売価格	△19.2	△7.7	△16.0	△8.0	△3.8	0.0	7.4	15.0	10.0
在庫	△3.8	△3.8	△4.0	△16.0	△7.7	0.0	0.0	△15.0	△15.0
資金繰り	△7.7	△19.2	△16.0	△12.0	△7.7	△3.8	3.7	△5.0	△10.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
同業者間の競争の激化	45.5%	販路を広げる	17.9%
売上の停滞・減少	18.2%	情報力を強化する	17.9%
利幅の縮小	18.2%	経費を節減する	12.8%

能登地区の縫製業



【概況】

今期（R 4.4月～6月）の業況D.I.は例年悪化する傾向であるが、コロナの第六波が5月中ごろに落ち着いたことにより△25.0と前期（R 4.1月～3月）の△40.0より改善した。全体的に状況は改善し、人手のみが悪化した。業況は落ち着き、全体的に改善している。

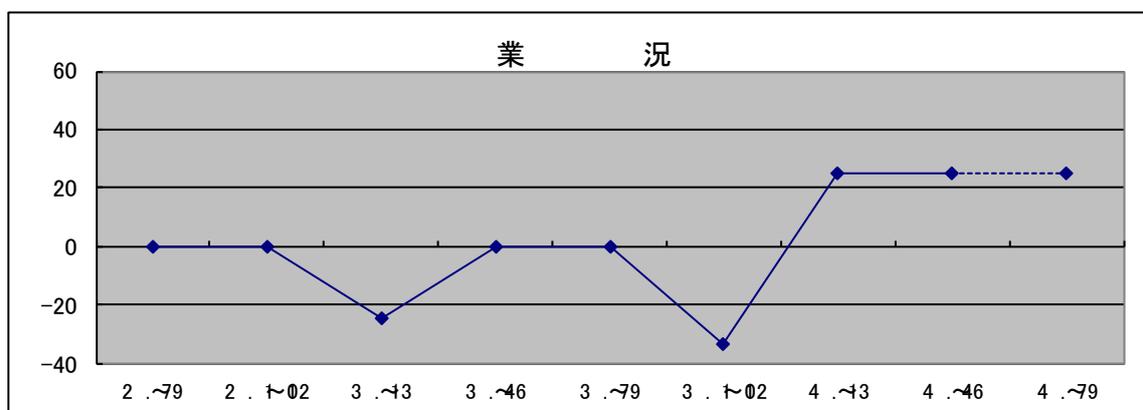
来期（R 4.7月～9月）は物価高や円安の影響を危惧してか、売上・収益が悪化すると予想している。

《業績判断D.I.の推移》

	令和2年		令和3年				令和4年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業況	△75.0	△40.0	△20.0	△60.0	△50.0	△40.0	△40.0	△25.0	△25.0
売上	△25.0	20.0	0.0	△60.0	0.0	△20.0	0.0	25.0	0.0
収益	△25.0	0.0	△20.0	△60.0	0.0	△20.0	△20.0	25.0	△25.0
資金繰り	△25.0	0.0	0.0	△20.0	0.0	△20.0	0.0	0.0	0.0
人手	△25.0	0.0	△40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	△25.0	△25.0
設備	0.0	0.0	△20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	23.1%	販路を広げる	28.6%
輸入製品との競争の激化	15.4%	新製品・技術を開発する	28.6%
原材料高	15.4%	不採算部門を整理・縮小する	14.3%

能登地区の電子部品・半導体製造業



【概 況】

今期（R 4.4月～6月）業況D.I.については25.0と横這いであった。

ロシアのウクライナ侵攻によりサプライチェーンや流通ルートが影響を受けたため、半導体の製造遅れや停止している状況に追い打ちをかける形で売上・収益・資金繰りは大幅に悪化。コロナウイルスによる環境の変化への対応が求められている中で、更なる試練が立ちはだかった。

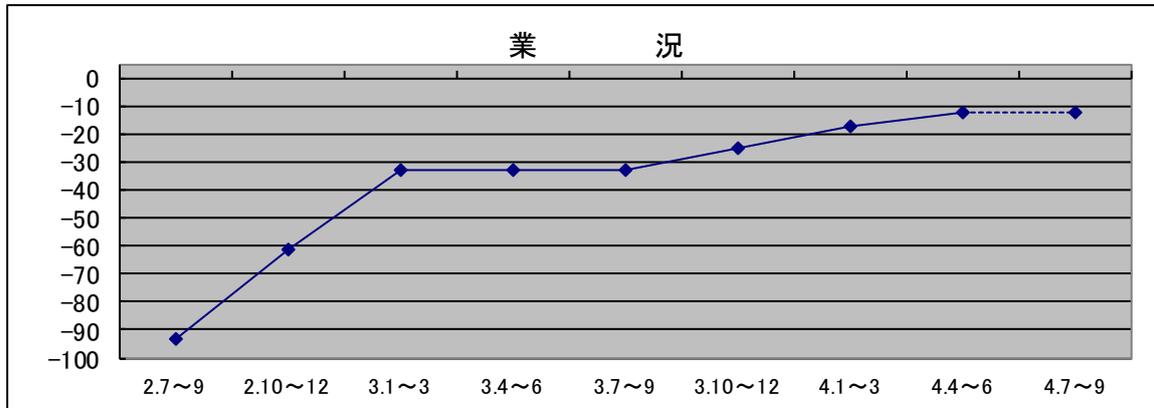
来期（R 4.7月～9月）は、業況D.I.と人手と設備については横這い、売上、収益、資金繰りは改善を予測している。先行きの不透明な状況が続くため、今後の動向について注視が必要である。

《業績判断D.I.の推移》

	令和2年		令和3年				令和4年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業 況	0.0	0.0	△25.0	0.0	0.0	△33.3	25.0	25.0	25.0
売 上	0.0	40.0	△25.0	△50.0	0.0	0.0	0.0	△50.0	0.0
収 益	0.0	40.0	△25.0	50.0	0.0	△66.7	25.0	△50.0	△25.0
資金繰り	△33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	△33.3	0.0	△50.0	△25.0
人 手	0.0	△20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△25.0	△25.0	△25.0
設 備	△33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
輸入製品との競争の激化	30.0%	経費を節減する	22.2%
人手不足	20.0%	提携先を見つける	22.2%
原材料高	20.0%	情報力を強化する	11.1%

能登地区の漆器業



【概 況】

今期（R 4.4月～6月）業況D.I.はコロナ第六波が沈静化したことにより、△12.5（前期△17.6）と改善。海外からの観光客の受け入れが6月10日より再開され業況改善が期待されるが、現在はまだ観光客は少なく、大幅な改善はみられていない。

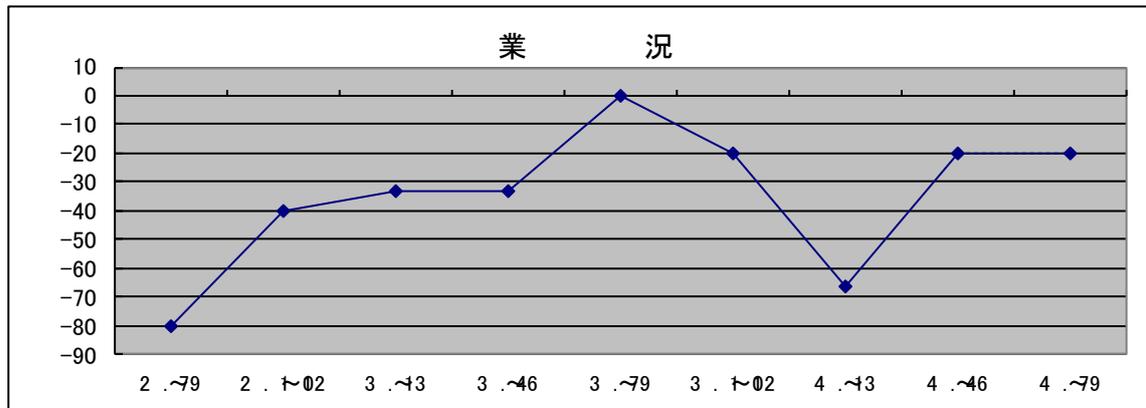
来期（R 4.7月～9月）は外国人観光客及び国内旅行者の増加が見込まれることから、売上・収益は改善、業況・人手・設備については横這いで推移すると予想し、資金繰りは悪化を予想している。

《業績判断D.I.の推移》

	令和2年		令和3年				令和4年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業 況	△93.3	△61.1	△33.3	△33.3	△33.3	△25.0	△17.6	△12.5	△12.5
売 上	△46.7	△33.3	△33.3	△44.4	△33.3	△6.2	△17.6	△12.5	25.0
収 益	△53.3	△33.3	△33.3	△38.9	△27.8	△12.5	△17.6	△12.5	25.0
資金繰り	△20.0	△38.9	△22.2	△16.7	△27.8	△25.0	△5.9	△12.5	△25.0
人 手	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	6.2	0.0	0.0	0.0
設 備	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	18.2%	販路を広げる	27.8%
新製品・技術を開発する	18.2%	提携先を見つける	27.8%
地場産業の衰退	13.6%	経費を節減する	11.1%

能登地区の木材業



【概 況】

今期（R 4.4月～6月）業況D.I.は△20.0と前回の△66.7より大幅に改善した。売上・収益・資金繰りは改善しており、人手・設備については横這いで全体的に改善傾向にある。経営上の問題点で「利幅の縮小」、「仕入先からの値上げ要請」、「売上の停滞・減少」が入った。来期（R 4.7月～9月）売上は更に改善する見込みであるが、他全ての項目について横這いと予想している。

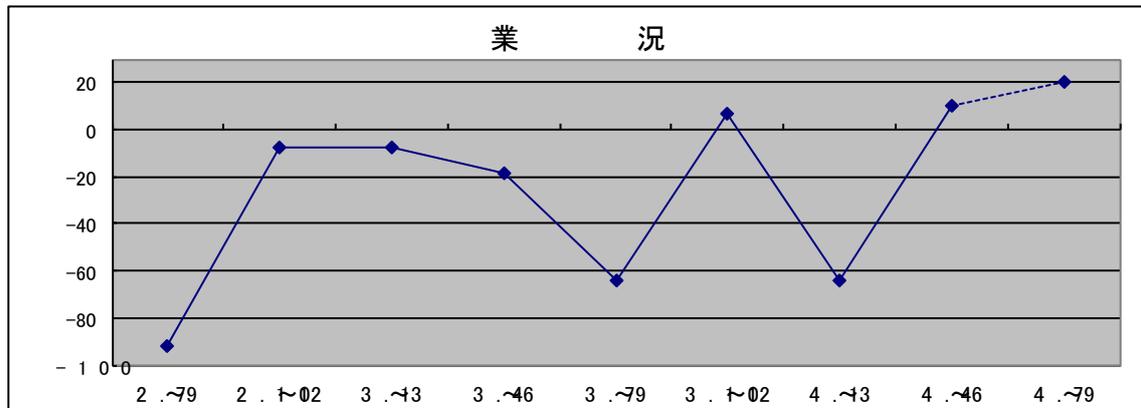
例年12月から梅雨時期まで木材価格は概ね下がる傾向にあるが、今年はやや価格が下がった程度で、今後も動向には注視が必要である。

《業績判断D.I.の推移》

	令和2年		令和3年				令和4年		見通し
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
業 況	△80.0	△40.0	△33.3	△33.3	0.0	△20.0	△66.7	△20.0	△20.0
売 上	△80.0	△40.0	△50.0	△50.0	△40.0	△60.0	△66.7	△20.0	0.0
収 益	△80.0	△40.0	△50.0	△50.0	△20.0	△60.0	△50.0	0.0	0.0
資金繰り	△20.0	△40.0	△33.3	△16.7	△20.0	△20.0	△33.3	△20.0	△20.0
人 手	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
設 備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
利幅の縮小	20.0%	販路を広げる	25.0%
仕入先からの値上げ要請	20.0%	提携先を見つける	25.0%
売上の停滞・減少	10.0%	人材を確保する	12.5%

能登地区の建具業



【概 況】

前期（R 4.1月～3月）はコロナ第五波の影響で前々期に改善した業況・売上・収益が落ち込んだが、今期は第六波が落ち着いたことで改善したとの回答が多くなり、業況D.I.は10.0と大幅に改善、売上・収益も同様に改善を示すも、資金繰り・人手・設備は横這いであった。来期（R 4.7月～9月）の予測数値は業況・売上・収益が回復基調を維持し、他の項目については現状維持との見通しをしている。

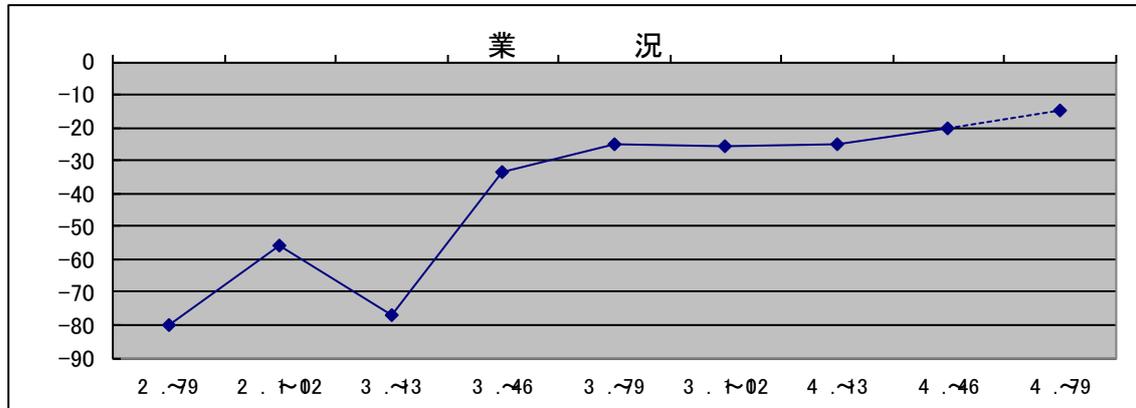
経営上の問題点として「原材料高」、「売上の停滞・減少」、「利幅の縮小」が並び、利益を出すために何をするか、何ができるかが課題となっている。当面の重点施策は「提携先を見つける」、「販路を広げる」との回答が多く、事業者は経営体制や経営戦略の見直しが必要と考えている。

《業績判断D.I.の推移》

	令和2年		令和3年				令和4年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
業 況	△92.3	△7.7	△7.7	△18.2	△64.3	7.1	△64.3	10.0	20.0
売 上	△7.7	0.0	0.0	△9.1	△50.0	7.1	△57.1	10.0	30.0
収 益	△7.7	0.0	0.0	△27.3	△42.9	7.1	△64.3	10.0	20.0
資金繰り	△7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	△7.1	0.0	0.0	0.0
人 手	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△14.3	0.0	0.0	0.0
設 備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
原材料高	21.1%	提携先を見つける	50.0%
売上の停滞・減少	18.4%	販路を広げる	37.5%
利幅の縮小	18.4%	経費を節減する	12.5%

能登地区の織布業



【概況】

今期（R 4.4月～6月）業況D.I.は△20.0（前期△25.0）とやや改善を示した。今期は業況・売上・収益・資金繰りが改善し、人手と設備がやや悪化した。

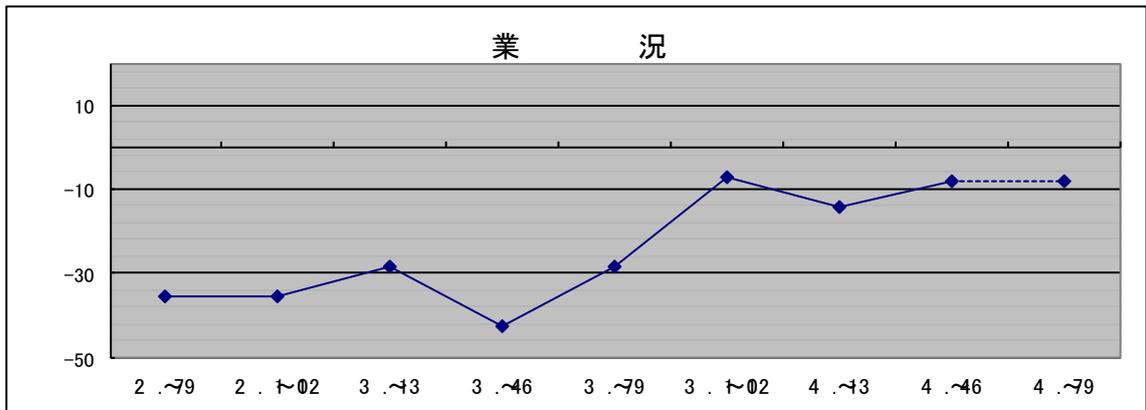
来期（R 4.7月～9月）業況はやや改善する見込み。車のタイミングベルトの裏地などの特殊な製品は景気の影響をほとんど受けてはいないが、ロシアのウクライナ侵攻などの影響により、今後部品や材料の調達が立ち行かなくなる可能性も出てくるため、動向の注視が必要である。

《業績判断D.I.の推移》

	令和2年		令和3年				令和4年		見通し
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
業況	△80.0	△55.6	△76.9	△33.3	△25.0	△25.9	△25.0	△20.0	△15.0
売上	△64.0	△29.6	△65.1	△29.6	△10.7	△29.6	△20.8	0.0	△10.0
収益	△60.0	△29.6	△69.2	△25.9	△3.6	△29.6	△8.3	△5.0	△5.0
資金繰り	△24.0	△14.8	△11.5	△14.8	0.0	△14.8	△8.3	△5.0	0.0
人手	0.0	△7.4	7.7	△3.7	0.0	△3.7	△4.2	△10.0	△10.0
設備	△4.0	3.7	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	△5.0	△5.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	15.8%	提携先を見つける	35.0%
同業者間の競争の激化	15.8%	経費を節減する	20.0%
人件費の増加	12.3%	販路を広げる	18.3%

能登地区の繊維・雑品業



【概況】

今期（R 4.4月～6月）業況D.I.は△8.3（前期△14.3）と改善を示し、売上と収益と人手は改善、資金繰りと設備は横這いで、全体的に改善を示した。

経営上の問題点として「同業者間の競争の激化」が前回より60ポイント増加し三位から一位へ上昇し、経営者が切実な問題として意識している表れといえる。

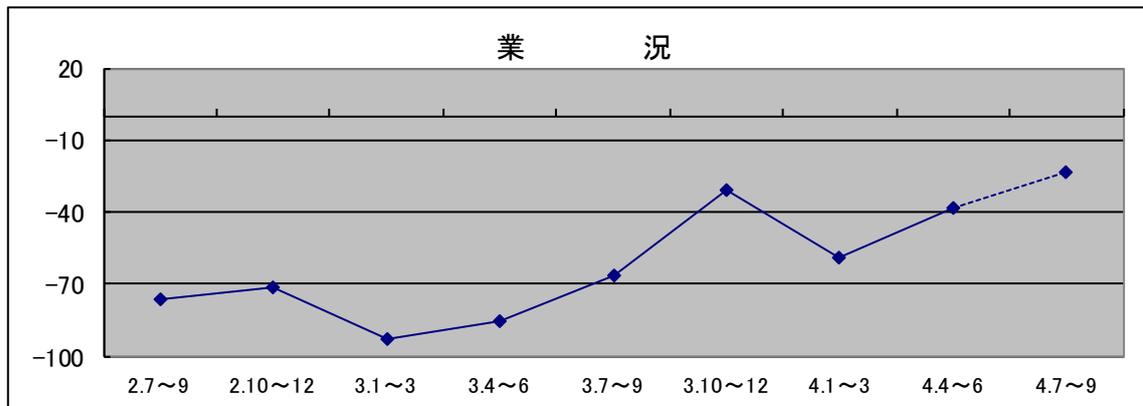
来期（R 4.7月～9月）の業況D.I.については△8.3と横這いを予想。令和4年に入ってからは今のところ大きく悪化することなく来ている。来期は人手のみやや悪化の予想であるが、他の項目については横這いを予想している。

《業績判断D.I.の推移》

	令和2年		令和3年				令和4年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業況	△35.7	△35.7	△28.6	△42.9	△28.6	△7.1	△14.3	△8.3	△8.3
売上	△21.4	△21.4	△21.4	△42.9	△28.6	14.3	△14.3	△8.3	△8.3
収益	△21.4	△21.4	△21.4	△42.9	△28.6	14.3	△14.3	△8.3	△8.3
資金繰り	△14.3	0.0	△14.3	0.0	0.0	△7.1	0.0	0.0	0.0
人手	0.0	0.0	△21.4	0.0	0.0	0.0	7.1	8.3	0.0
設備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
同業者間の競争の激化	75.0%	提携先を見つける	46.4%
売上の停滞・減少	25.0%	経費を節減する	35.7%
人件費の増加	25.0%	販路を広げる	14.3%

能登地区の観光業



【概 況】

今期（R 4.4月～6月）業況D.I.は、前期（R 4.7月～9月）の△58.8から△38.5と改善した。

政府により3月21日にまん延防止等重点措置が解除されたことによって人流が増え、それにより全ての項目において数値は改善した。しかしコロナ感染者はいつ再び増加するか分からず、現在行動制限はないが、人流は自主的な外出自粛により減少することも考えられる。来期業況D.I.は△23.1と改善を予想、売上・収益・料金価格においても改善を予想しているが、楽観視はできない。

《業績判断D.I.の推移》

	令和2年		令和3年				令和4年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業 況	△76.5	△71.4	△92.9	△85.7	△66.7	△31.2	△58.8	△38.5	△23.1
売 上	△11.8	△57.1	△92.9	△78.6	△40.0	0.0	△41.2	△15.4	38.5
収 益	△11.8	△57.1	△92.9	△78.6	△40.0	△12.5	△47.1	△15.4	30.8
料金価格	5.9	△14.3	△14.3	0.0	6.7	0.0	11.8	15.4	23.1
資金繰り	△29.4	△28.6	△50.0	△42.9	△33.3	△18.8	△17.6	0.0	△7.7
設 備	△5.9	△7.1	13.3	△7.1	△6.7	△12.5	△29.4	△15.4	△15.4

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
利幅の縮小	32.4%	提携先を見つける	33.3%
売上の停滞・減少	27.0%	経費を節減する	29.2%
同業者間の競争の激化	8.1%	宣伝・広告を強化する	15.9%

主要経済指標

◆ 労働

(時間)

	有効求人倍率 (季節調整値)	実質労働時間	
			うち所定外
2年 7月	1.15	142.0	7.2
2年 8月	1.10	132.0	7.3
2年 9月	1.09	139.5	7.7
2年 10月	1.12	142.8	7.8
2年 11月	1.18	142.4	8.4
2年 12月	1.23	141.9	8.7
3年 1月	1.22	127.9	7.4
3年 2月	1.26	132.8	8.1
3年 3月	1.27	138.8	8.6
3年 4月	1.35	143.7	8.3
3年 5月	1.36	129.2	7.5
3年 6月	1.38	141.4	8.0
3年 7月	1.35	141.5	8.5
3年 8月	1.36	131.7	7.9
3年 9月	1.40	137.0	8.4
3年 10月	1.40	141.3	8.7
3年 11月	1.38	142.5	8.9
3年 12月	1.38	142.2	9.2
4年 1月	1.46	132.1	8.3
4年 2月	1.51	133.5	8.7
4年 3月	1.47	137.3	8.8
4年 4月	1.52	145.5	9.6

資料: 石川県企画開発部統計課

◆ 消費者物価指数

※平成28年より2015年(平成27年)を100としています。

	総合	前年同月比
2年 7月	102.6	0.3
2年 8月	102.6	-0.2
2年 9月	102.2	-0.4
2年 10月	102.6	-0.7
2年 11月	102.2	-1.0
2年 12月	102.0	-1.1
3年 1月	102.6	-0.4
3年 2月	102.5	-0.1
3年 3月	102.8	0.1
3年 4月	102.4	-0.1
3年 5月	102.7	0.0
3年 6月	102.8	0.1
3年 7月	99.8	-0.2
3年 8月	99.9	0.1
3年 9月	100.2	0.7
3年 10月	100.2	0.3
3年 11月	100.1	0.6
3年 12月	100.1	0.6
4年 1月	100.2	0.1
4年 2月	100.8	0.9
4年 3月	101.0	0.8
4年 4月	101.3	2.0
4年 5月	101.6	1.8

資料: 石川県企画開発部統計課

◆ 信用保証

(百万円)

	保証承諾		保証債務	
	件数	金額	件数	金額
2年 10月	818	11,511	20,735	266,133
2年 11月	735	10,759	21,137	273,184
2年 12月	913	11,887	21,709	282,686
3年 1月	420	4,714	22,087	287,516
3年 2月	638	10,395	22,292	290,467
3年 3月	1,724	33,452	22,781	300,923
3年 4月	820	15,623	23,341	313,128
3年 5月	245	2,328	23,410	314,911
3年 6月	270	1,983	23,401	314,354
3年 7月	246	1,910	23,385	313,433
3年 8月	264	2,077	23,386	312,444
3年 9月	294	2,281	23,390	312,173
3年 10月	271	2,637	23,423	312,011
3年 11月	257	1,849	23,441	311,752
3年 12月	259	2,395	23,443	311,106
4年 1月	187	1,816	23,457	310,460
4年 2月	243	2,172	23,473	310,003
4年 3月	378	4,258	23,495	309,397
4年 4月	208	2,054	23,540	309,746
4年 5月	228	2,331	23,541	309,138

資料: 石川県信用保証協会

◆ 企業倒産件数

(百万円)

	件数	金額
2年 9月	3	89
2年 10月	4	367
2年 11月	6	707
2年 12月	6	413
3年 1月	2	170
3年 2月	4	385
3年 3月	4	3,836
3年 4月	6	509
3年 5月	10	724
3年 6月	7	1,360
3年 7月	4	62
3年 8月	3	204
3年 9月	3	166
3年 10月	7	6,514
3年 11月	4	640
3年 12月	4	578
4年 1月	2	950
4年 2月	4	200
4年 3月	7	2,279
4年 4月	3	184
4年 5月	2	432

資料: (株)東京商工リサーチ

主要経済指標

◆ 建築着工

(千㎡、百万円)

	建築着工総数		うち住宅着工	
	床面積	工事予定額	戸数(戸)	床面積
2年 6月	118	26,738	647	58
2年 7月	78	15,148	710	57
2年 8月	109	22,003	728	62
2年 9月	72	14,607	531	45
2年 10月	82	15,291	504	50
2年 11月	96	19,358	672	61
2年 12月	80	16,045	590	54
3年 1月	51	12,277	310	31
3年 2月	163	23,961	465	45
3年 3月	103	24,047	567	55
3年 4月	113	21,857	614	58
3年 5月	102	20,202	571	58
3年 6月	118	22,791	718	65
3年 7月	88	16,623	619	60
3年 8月	76	15,385	789	62
3年 9月	108	19,928	638	57
3年 10月	89	18,306	587	60
3年 11月	184	32,438	896	84
3年 12月	86	20,041	491	45
4年 1月	59	12,492	372	36
4年 2月	63	11,935	474	43
4年 3月	83	17,065	569	50
4年 4月	102	18,001	449	44

資料:国土交通省(石川県内)

◆ 公共工事請負金額

(件、百万円)

	件数	請負金額
2年 6月	574	17,880
2年 7月	637	17,721
2年 8月	505	11,694
2年 9月	553	14,120
2年 10月	546	12,814
2年 11月	345	6,843
2年 12月	299	7,262
3年 1月	211	5,262
3年 2月	152	3,599
3年 3月	127	7,066
3年 4月	509	37,997
3年 5月	389	22,743
3年 6月	584	22,503
3年 7月	664	15,495
3年 8月	471	11,897
3年 9月	537	15,581
3年 10月	458	8,538
3年 11月	402	9,874
3年 12月	271	4,870
4年 1月	193	8,467
4年 2月	112	2,584
4年 3月	99	4,381
4年 4月	609	22,419
4年 5月	318	22,299

◆ 新車登録台数

(台)

	普通自動車	軽自動車
2年 6月	2,244	1,465
2年 7月	2,649	1,690
2年 8月	1,918	1,383
2年 9月	3,048	1,881
2年 10月	2,661	1,581
2年 11月	2,514	1,640
2年 12月	2,339	1,383
3年 1月	2,250	1,326
3年 2月	2,705	1,740
3年 3月	5,105	3,008
3年 4月	2,245	1,506
3年 5月	2,142	1,287
3年 6月	2,472	1,509
3年 7月	2,837	1,439
3年 8月	2,296	1,193
3年 9月	2,105	1,175
3年 10月	2,035	1,107
3年 11月	2,544	1,448
3年 12月	2,280	1,204
4年 1月	2,206	1,265
4年 2月	2,487	1,526
4年 3月	4,396	2,484
4年 4月	1,955	1,297
4年 5月	1,846	1,089

資料:石川県自動車販売店協会

◆ 温泉地宿泊数

(人)

	和倉温泉	輪島温泉
2年 7月	46,678	9,800
2年 8月	55,528	13,700
2年 9月	40,084	11,200
2年 10月	52,385	14,300
2年 11月	64,437	16,500
2年 12月	49,849	10,000
3年 1月	10,858	3,600
3年 2月	10,622	4,000
3年 3月	32,937	6,600
3年 4月	23,814	8,300
3年 5月	17,150	7,300
3年 6月	11,290	4,800
3年 7月	35,443	10,700
3年 8月	43,264	10,400
3年 9月	21,952	7,100
3年 10月	40,773	11,400
3年 11月	59,850	15,400
3年 12月	56,440	10,500
4年 1月	33,904	5,900
4年 2月	14,279	3,800
4年 3月	38,817	8,000
4年 4月	40,914	10,900
4年 5月	47,844	15,300

資料:北陸観光協会、和倉温泉観光協会
輪島市観光協会

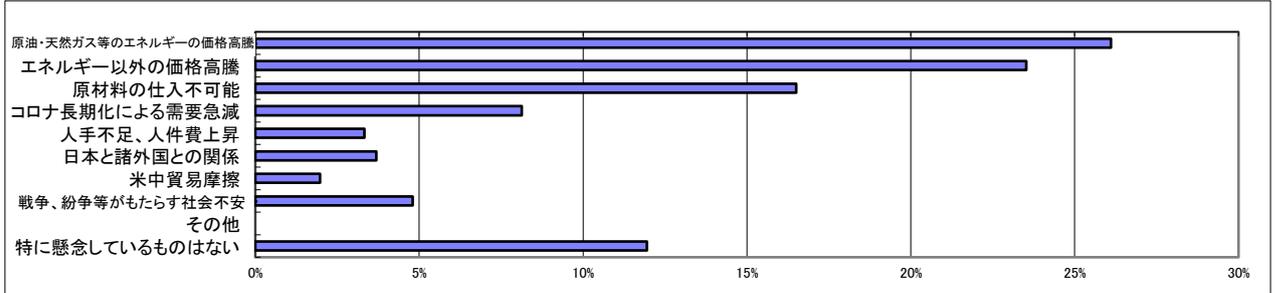
◆ 織物生産高

(千㎡)

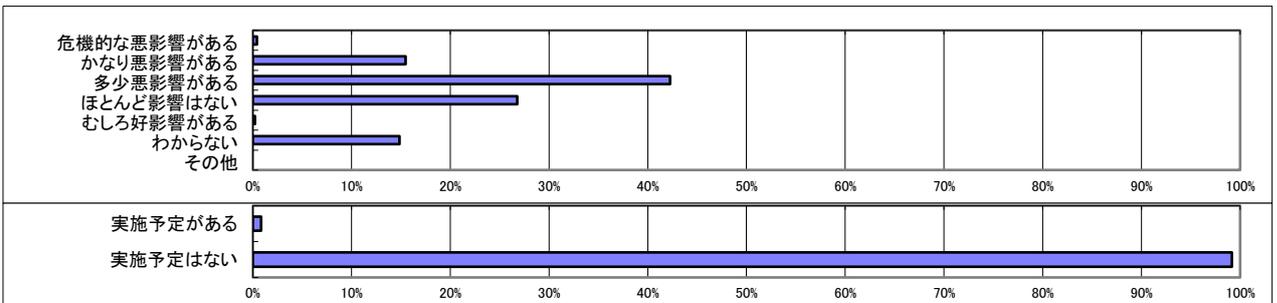
	合計
2年 6月	18,402
2年 7月	17,382
2年 8月	12,208
2年 9月	13,612
2年 10月	15,859
2年 11月	15,282
2年 12月	14,852
3年 1月	15,143
3年 2月	16,191
3年 3月	16,905
3年 4月	17,276
3年 5月	16,199
3年 6月	19,475
3年 7月	19,071
3年 8月	16,987
3年 9月	20,266
3年 10月	21,090
3年 11月	20,272
3年 12月	17,924
4年 1月	17,746
4年 2月	18,866
4年 3月	21,378
4年 4月	18,936

資料:石川県企画開発

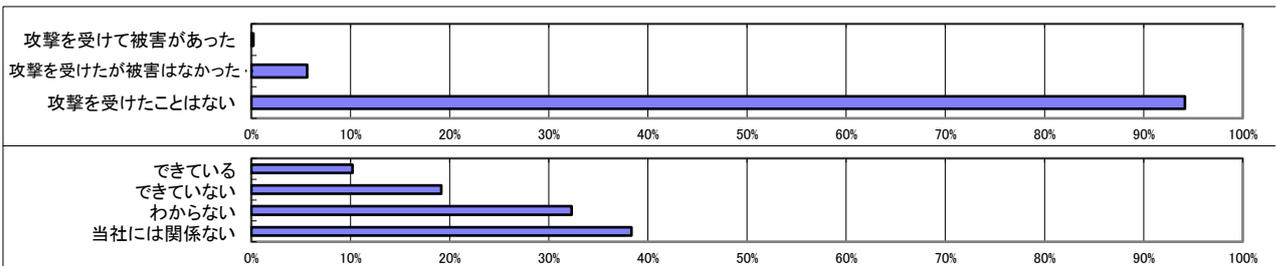
問1. 貴社では、最近の経済社会情勢について、特に懸念しているものはありますか。下記の1～0の中から最大3つまで選んでお答えください。



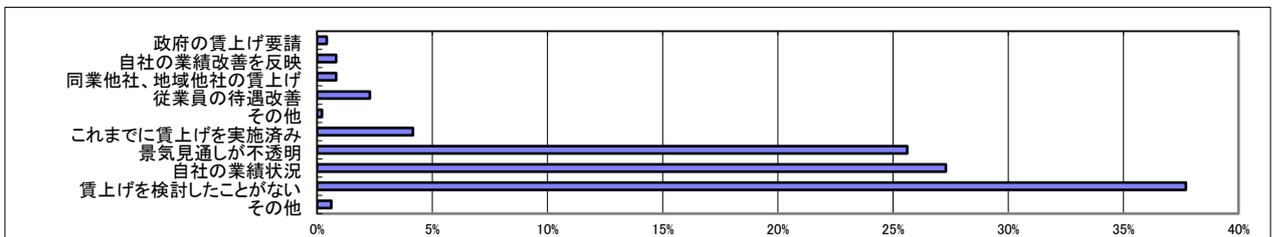
問2. 貴社では、最近の原油・天然ガスなどのエネルギー価格の上昇により収益にどのような影響を受けていますか。下記の1～7の中から1つ選んでお答えください。また、今後、省エネにつながる設備投資を実施する予定はありますか。下記の8～9の中から1つまで選んでお答えください。



問3. 企業や団体などを標的としたサイバー攻撃による被害が数多く報告されています。貴社は、サイバー攻撃による被害を受けたことがありますか。下記の1～3の中から1つ選んでお答えください。また、サイバーセキュリティを確保するため、人材を確保し、態勢を整備していますか。下記の4～7の中から1つ選んでお答えください。



問4. 経済社会情勢の混迷のなかで政府から賃上げが要請されていますが、貴社では、今春、賃上げを実施しましたか。実施した場合は、その理由について、最もあてはまるものを次の1～5の中から、賃上げを実施しなかった場合は、その理由について最もあてはまるものを次の6～0の中から1つ選んでお答えください。



問5. 貴社では、コロナ禍を受けて、事業承継(M&Aを含む。)についての考え方に変化はありましたか。次の1～0の中から1つ選んでお答えください。

